

第 25 回 BATIC Subject 2（国際会計検定）解答速報

〈選択問題: 1～60〉 (Subject 2 各 7 点 計 420 点)

問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
解答	②	③	③	②	①	③	④	①	②	④	⑤	③	②	③	③
問	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
解答	②	③	①	⑤	②	④	③	①	④	②	③	②	④	④	②
問	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
解答	①	⑤	③	③	③	④	②	④	⑤	②	③	②	④	②	④
問	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
解答	⑤	④	⑤	⑤	④	⑤	③	①	④	⑤	④	⑤	①	③	③

〈記述問題〉

61 (45 点)

(1)

Dr. 6 [800]
 Cr. 1 [800]

(2)

(A) Dividend income \$ [1,050]
 (B) Impairment loss \$ [4,600]
 (C) Equity income \$ [5,100]

(3) \$ [141,550]

62 (45 点)

(1)

(A)

Dr. 2 [124,255]
 Cr. 1 [12,000]
5 [4,255]

(B)

Dr. 4 [6,213]
5 [987]
 Cr. 2 [7,200]

(2) \$ [2,231]

(3) \$ [5,269] of (gain loss)

63 (45 点)

(1)

Dr. [28,000]
Cr. [28,000]

(2)

(A) Interest cost \$ [34,000]
(B) Actual return on plan asset \$ [49,000]
(C) Net periodic pension cost \$ [3,300]

(3) \$ [4,300] of (Increase Decrease)

(4) \$ [65,700] in (Debit Credit)

64 (45 点)

ABC Company's Consolidated Balance Sheet
Immediately After the Acquisition

Cash	\$ [284,000]	Accounts payable	\$ [259,000]
Accounts receivable	[363,000]	Long-term debt	[517,000]
Inventory	[211,000]	Common stock	[800,000]
Property, plant, and equipment	[1,157,000]	Additional paid-in capital	[300,000]
3	[43,000]	Retained earnings	[150,000]
		4	[32,000]
	<u>\$ [2,058,000]</u>		<u>\$ [2,058,000]</u>

第 25 回目試験 講評

受験生の皆様、本試験お疲れ様でした。
今回の感触はいかがでしたでしょうか？

さて、今回の第 25 回の本試験ですが、基本的な内容を、今までとは違った角度で訊いている問題が多かったような気がします。これは本質的な理解ができているかどうかを試していることの表れだと思います。

Subject1 では、記述問題で、損益計算書と貸借対照表の作成問題が出題されましたが、これまでとは異なり、期末の試算表が資料として与えられていませんでした。財務諸表の形式だけではなく、期中取引をいかに素早く、しかも正確に集計できるかが問われていた問題だと思います。また、**Ratio analysis**（比率分析）により、複数の会社を比較する問題が多くなってきましたが、これは、単に財務諸表を作成するだけではなく、分析までできることが、実務上のスキルとして求められていることを反映しているものと思われます。

Subject2 でも、特に記述問題に、本質的な理解が問われている問題が多いと感じました。**Pension** の問題では、**Net periodic pension cost** や **other comprehensive income** の額が問われましたが、**Pension** の計算構造をしっかりと理解していなければ解けない問題でした。保有有価証券や社債についての記述問題も、正確な知識が必要となってくる問題であったと思います。

今後は、会計だけでなく、税法や監査等についても、様々な場面で、国際的な知識が必要になってくると思います。より幅広く、そして深く学習されてみたい方は、是非、**USCPA** の学習を始めてみてください。今後の皆様のキャリア形成の中で、必ずや大きな意味を持つてくることと思います。

TAC BATIC 講座



TAC 米国公認会計士講座のご案内

①米国公認会計士試験は日本国内（東京・横浜・大阪）で受験できます！

②BATIC アカウンタントレベル（320 点以上）の方は TAC 米国公認会計士講座 USCPA 本科生を 10%OFF の受講料でご受講いただけます！

※BATIC で出題されている内容はほとんどそのまま米国公認会計士試験の主要な科目である FAR（財務会計）の出題範囲と重なりますので BATIC の学習経験をお持ちの方は大きなアドバンテージがあります。これを活かさない手はありません！

日本も米国も基本的な会計処理は同じです。特に日商簿記 2 級レベルの方や、BATIC の学習経験をお持ちの方のアドバンテージはかなり大きいと言えます。TAC の米国公認会計士講座は週 1 回、約 1 年間のカリキュラムで学習していきますので、お仕事や学業と両立させながら、合格を目指していただくことが可能です！

最新情報は米国公認会計士講座専用サイトで！ <http://www.cpa-tac.com/us/>